

オバマ大統領とネタニヤフ首相 2009年5月20日 アシェル・イントレーター

オバマ大統領とネタニヤフ首相との会談は物別れに終わりましたが、この時点ではそうなることが予想されていました。アメリカの位置付けは、イスラエルの強力な同盟国から、イスラエルとイスラム諸国との中立的な仲介者へと変化しているように思われます。言い換えると、現在世界にはイスラエルの同盟国であると宣言する国は存在しないのです。これはイエシュア(イエス)や聖書の神の真の信者である諸国のメシアの体に対して課題を投げかけています。彼らは聖書の契約に対して忠実であり続けることのできる唯一の人々です。

ネタニヤフ首相の立場の要点は次の通りです。イスラエルは和平会談を継続することに賛成していますが、それには必ず両陣営の妥協を基とし、イスラエルが一方向的に譲歩するものではないということです。

イスラエルに対する国際的圧力のスローガンの一つは「平和のために土地を」です。イスラエルはより多くの土地をイスラム諸国との和平のために割譲すべきというものです。中近東の全域の面積は5,200,000平方マイル(訳注:8,320,000平方キロ)です。イスラエルは8000平方マイル(訳注:12,800平方キロメートル。四国とほぼ同じぐらい)です。和平の鍵は8000平方マイルの土地を持つ集団に対して、5,200,000平方マイルの土地を持つ集団が「土地を割譲せよ」という主張は、意味を成さないと私は思うのです。

全地は主の栄光に満たされる

以下は、いつの日か全地が主の栄光に満たされることを約束する5つの御言葉です。

民数記 14:21「主の栄光が全地に満ちている」

イザヤ 6:3「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満つ」

イザヤ 11:9「主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである」

ハバクク 2:14「まことに、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ることによって満たされる」

詩篇 72:19「その栄光は地に満ちわたれ」

最近私は夢を見ました。神のご臨在が地球を満たし始まるのを私は見たのです。自然のすべて、木々や河川、山々など、すべて生気を取り戻したのです。聖書のパラダイスは、回復したエデンの園なのです。

ローマ 8:19-21「被造物も、切実な思いで神の子どもたちの現れを待ち望んでいるのです。それは、被造物が虚無に服したのが自分の意志ではなく、服従させた方によるのであって、望みがあるからです。被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。」

人の霊は、その人の魂とつながり、その人の魂はその人の体につながっています。人の体は、元は地から取られたものであり、それゆえ人の肉体と地球の地とはつながりがあるのです。人は死ぬと、その人の霊と魂はその体から離れ、体は朽ちて地に帰ります。

それゆえ、人類の死者からの復活はまた地球の回復につながっています。すべての死者の体は地中にあります。復活の時、神の力がそれらの体を満たし、それらは新しい、栄光の体(または永遠の裁きを受ける)を得て生き返るのです。地を満たして死者を復活させる栄光の力は同時に地を満たして自然を元の姿に戻すのです。

地と人の肉体は契約として、また物質としてつながっています。人が罪を犯した時、人の体は栄光を失い、地球は滅びへと落ちて行きました。神の子どもたちに新しい栄光の体(ピリピ 3:21、I コリント 15:35-49)が与えられる時、自然もその栄光を取り戻します(マタイ 19:28、黙示録 21-22)。来るべき神の御国には地上の「再生」が含まれます(マタイ 19:28;、黙示録 21-22)。復活と再生は「新しい創造」(II コリント 5:17、黙示録 21:5)の一部なのです

地を満たす神の栄光についての約束は、誰がイスラエルの地を所有するかという現在の紛争にもつながっています。この微々たる地に莫大な国際的注目が向けられているのは強迫的であり、厳密に政治的な理由からすると意味を成しません。この紛争には霊的な根があるのです。イスラム教徒はこの聖地はイスラムに属すると主張しています。聖書には、この地は神によってユダヤ人に与えられたという明白かつ取り消されることのない契約を含んでいます(創世記 12:7; 13:15; 15:18; 17:8; 26:3; 28:13; 35:12)。

しかし、ユダヤ人とクリスチアンの大半は共にこれらの契約の重要性を見落としています。これらの約束は、第一にユダヤ人に住む場所を与えるためのものではありません(もちろんそれも含まれますが)。イスラエルの地に関する契約の目的は、神の子どもたちのために地球を再生させる過程を開始するためなのです。アブラハムとその家族は最初の真の信者たちでした。

神はアブラハムとその家族にイスラエルの地を与えるという契約を交わしました。これによって信仰共同体全体は全地の所有権を法的に要求できるようになりました。全地が完全に神の子どもたちの所有に戻る時、全地は栄光へと回復するのです。

イスラムのジハード(訳注: 聖戦)と世俗的ヒューマニズムは神が地上を所有することに反対し、それ

ゆえイスラエルの地に関する聖書の契約を考慮することに反対します。イスラエルの地に関する聖書の契約と、神の子どもたちによって全地を所有する約束、そして全地が神の栄光に満たされる預言を私たちは信じています。